

2022年10月5日 [保険ブローカーに聞く](#)

《連載》 保険ブローカーに聞く①

情報提供力磨き、国内で増す存在感

J E I B ジャパン

海難事故に際して、船主が損害賠償後も事業を継続できるようにするP & I 保険。過去2年間に相次いだ大型の事故は今年8月時点で前年度に比べて減少傾向にあるが、コロナ禍に起因するクレームも続いており、引き続き大きな役割を果たしている。さらに、サイバーリスクなど新たな脅威への対応も求められる中、保険ブローカーの持つ情報や知見、ネットワーク、契約時の交渉力への注目は年々高まっている。日本に事務所をおく保険ブローカー4社にP & I 保険の来保険年度の交渉に向けた見通し、自社のサービスの現状や今後の展開などを聞いた。

J E I B ジャパンは、保険ブローカーとして世界4位の英国・アーサーギャラガー社とパートナーシップを組んでサービスを展開。同社と組むことで船舶運航に関するリスクマネジメントに関する知見や情報提供力に関して強みを持つ。セミナーの開催などにより、国内マーケットでの存在感も高めてきている。同社の小田洋社長、河合寿宜船舶営業部長がインタビューに応じた。質疑応答の概要は以下のとおり。

— 現在のP & I 保険に関する事業の概要について教えてほしい。

「保険ブローカーとしてP & I 保険の取扱高が世界4位の英国・アーサーギャラガー社とパートナーシップを組んで、サービスを展開している。現在の人員は6人。アーサーギャラガー社と組むことで、世界中のすべてのP & I クラブのシニアマネジメント層からアンダーライター、クレーム処理担当まで幅広く関係を構築している。日本でセミナーを定期的を開催し、顧客に対して積極的に情報提供を行っている」

— P & I 保険の今保険年度の状況と来保険年度の見通しは。

「2020保険年度から始まったG Iの流れは、2021保険年度では、平均約8%の増加となり、2022保険年度では約12%の引上げとなった。これらG Iによって、I Gグループ平均のコンバインド・レシオは約135%から約115%へと大幅に改善した。保険クレームの良化傾向が続けば、さらなる改善が見られるはずだ。保険引受損益では、2021年度の国際グループ合計で、引受損失が5億7900万ドルの赤字から3億4600万ドルの赤字へと約40%の大幅な改善となった。ただ、投資収入は5億1700万ドルから1260万ドルと極端に減少した。健全な財務体質の維持において投資収入を予定できる状況ではなくなっている。各クラブは保険引受損失をカバーするバッファが不足している状況だ」

— そうした中、P & I クラブがとる方策は。

「メンバーに追加の割増保険料を請求するか、フリーリザーブを取り崩すかの解決策がある。ただ、P & Iクラブの財務健全性を維持するための資産は、非営利のミューチャル組織のために限られており、おおむねフリーリザーブによって構成されている。さらに、このフリーリザーブは、保険組織としてのソルベンシー・マージンを構成する重大なファンドだ。よって、保険引受損失が拡大したときに、軽々にフリーリザーブの取り崩しを選択する場合には、将来の財務健全性の維持に、より大きな禍根を残す可能性がある」

— そうした環境の中、貴社としてはどのようなサービスに力を入れていくのか。

「P & I 保険市場は、G I の継続傾向の動静、またはクラブの合併など、状況変化のスピードが早くなってきている。その中で、船主のクラブ選択や保険更改の交渉などにおいては、市場全体を鳥瞰した情勢把握に基づく適切な対応を実施していく必要性が大きくなっている。当社および提携するアーサーギャラガーは各クラブとの取引量が多く、多くの海運業界団体およびP & Iクラブの本部機構が置かれているロンドンにP & I 保険活動の主要拠点があることから、業界動向に関する情報をいち早く入手することができる。この地理的優位性など、動向が活発化する市場において、より有利となる助言を可能とする組織体制を生かして、船主に満足いただけるサービスを提供していく」

— 日本市場に対する見方、今後の事業展開は。

「もとより、P & I 保険における保険ブローカー起用は、グローバル・スタンダードなアウトソーシング活動だ。当社が国内市場での活動を開始以降に、フリート規模を問わず、保険ブローカー起用が急激に拡大してきた。海外とのグローバル競争のなかで活躍されている船主は、P & I 保険においても、当然のようにグローバルな運営が不可欠であり、市場の変化に即応するプロフェッショナルなブローカーを活用して、効率的な保険運営を志向される動きは、ますます顕著になってくるものと期待している」

(この連載は、高木宏治が担当します)



小田社長



河合船舶営業部長